

Minami Kyushu University Syllabus									
シラバス年度	2022年度	開講キャンパス		都城キャンパス		開設学科		環境園芸学科	
科目名称	教育課程論						授業形態		
科目コード	750065	単位数	2単位	配当学年	3年	実務経験教員		アクティブ ラーニング	○
担当教員名	山田 裕司								
授業概要	<p>本授業では、小学校・幼稚園・認定こども園の教育要領・学習指導要領、及びカリキュラムについて学びます。具体的には、戦後からの教育改革とそれに伴う学習指導要領の変遷（改定のポイント）や、現行の学習指導要領等のポイントについて学びます。特に、教育内容に関する「社会に開かれた教育課程」、教育課程の編成に関する「カリキュラム・マネジメント」、教育方法に関する「アクティブ・ラーニング」、学習評価に関する「ルーブリック評価」「ポートフォリオ評価」等について、中央教育審議会答申等を読み解きながらこれらに取り組む社会的背景や、実際の教育現場における取組について学びます。</p>								
関連する科目	教職概論、教育の方法と技術、各科目の教科教育法								
授業の進め方 と方法	<p>毎回の授業にて、アクティブラーニング型授業を展開します。1回の授業の構成は下記の通りです。授業の前半では知識・理解の獲得に向けて、「法的位置づけ」や「学術的な根拠（子どもの発達段階の特徴など）」について講義します。後半では汎用的技能の育成に向けて、グループディスカッションや課題解決・探求学習等にて、前半の学びを深めるとともに、自らの考えをレポートやプレゼン等にて表現します。</p>								
授業計画 【第1回】	1. オリエンテーション：教育課程論について								
授業計画 【第2回】	2. 教科課程と教科外活動 教育課程、カリキュラムなど、教育課程論を学ぶにあたっての専門的用語について解説します。								
授業計画 【第3回】	3. 教育要領・学習指導要領-小学校・総則 学習指導要領に記載されている内容を基に、解説を加えていきます。 また、学習指導要領の改訂の経緯やそのポイントについても解説します。								
授業計画 【第4回】	4. 教育要領・学習指導要領-小学校・教科 学習指導要領に記載されている内容を基に、解説を加えていきます。 また、学習指導要領の改訂の経緯やそのポイントについても解説します。								
授業計画 【第5回】	5. 教育要領・学習指導要領-幼稚園・認定こども園 学習指導要領に記載されている内容を基に、解説を加えていきます。 また、学習指導要領の改訂の経緯やそのポイントについても解説します。								
授業計画 【第6回】	6. 教科外活動-学校行事 学校行事、学級活動など、教科以外の活動について、その活動内容や教育効果について解説します。								
授業計画 【第7回】	7. 教科外活動-学級活動、児童会活動、特別活動 学校行事、学級活動など、教科以外の活動について、その活動内容や教育効果について解説します。								
授業計画 【第8回】	8. カリキュラム・マネジメント-学習指導要領等の理念を実現する方策 現行の学習指導要領の改訂のポイントを解説するとともに、その取り組み方について解説します。 また、地域資源を活用した社会に開かれた教育課程についても解説します。								
授業計画 【第9回】	9. カリキュラム・マネジメントとアクティブ・ラーニング 現行の学習指導要領の改訂のポイントを解説するとともに、その取り組み方について解説します。 また、地域資源を活用した社会に開かれた教育課程についても解説します。								
授業計画 【第10回】	10. カリキュラムの社会学-潜在的カリキュラム、顕在的カリキュラム カリキュラムに関する学際的な研究成果を基に、カリキュラムが及ぼす教育効果について解説します。								
授業計画 【第11回】	11. カリキュラムの社会学-隠れたカリキュラム カリキュラムに関する学際的な研究成果を基に、カリキュラムが及ぼす教育効果について解説します。								

授業計画 【第12回】	12. カリキュラム研究と教師教育 カリキュラムに関する学際的な研究成果を基に、カリキュラムが及ぼす教育効果について解説します。
授業計画 【第13回】	13. カリキュラムと評価活動-授業評価 学習評価について解説するとともに、評価方法とその目的の関連性について解説します。
授業計画 【第14回】	14. カリキュラムと評価活動-自己評価 学習評価について解説するとともに、評価方法とその目的の関連性について解説します。
授業計画 【第15回】	15. 子どもとカリキュラム-J. デューイ デューイの著書を読み、社会に開かれた教育課程について再度学びます。
授業の到達目標	本授業を通して、次の3点について学び、それに関連した知識・技能等を獲得する。 1. 教育要領・学習指導要領の役割とその活用方法【知識】 2. カリキュラム・マネジメントに関する知識とその活用方法【知識】 3. カリキュラム・マネジメントとアクティブラーニングの技法【技能】
学位授与の方針 (DP)との関連	1. 知識・理解を応用し活用する能力-(1)／1. 知識・理解を応用し活用する能力-(2)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(1)／2. 汎用的技能を応用し活用する能力-(2)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(1)／3. 人間力、社会性、国際性の涵養-(2)
授業時間外の学修 【予習】	授業中に次の授業内容（予習箇所）を提示します。次の授業までに確認してください。
授業時間外の学修 【復習】	授業後には、授業内容に関連した法制度や図書・論文・資料の原文等を確認してください。確認する内容については授業時間に伝えます。
課題に対する フィードバック	小テスト、レポート、最終試験は評価後、解説をします。
評価方法・基準	以下の項目に基づいて評価します。 1) 学習意欲（授業中）-50点 2) 小テスト及びレポート-20点 3) 最終試験-30点
テキスト	『幼稚園教育要領』（最新版） 『小学校学習指導要領』（最新版） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領』（最新版）
参考書	学習指導要領データベース（web） <a href="http://www.nier.go.jp/guideline/">http://www.nier.go.jp/guideline/</a>
備考	